



日本女子大学家政学部

住居学科

居住環境デザイン専攻・建築環境デザイン専攻
建築技術者教育コース

分野：建築学および建築学関連分野
認定年度：2003年度

日本女子大学住居学科は、わが国で最初の組織的な女子高等教育機関である「日本女子大学校」（1901年創立）において、1947年に誕生した学科であり、長い歴史をもっています。以来50有余年にわたり、住居・建築の専門家を多数生み出してきました。少し前まで日本では住居学科をもつ大学はめずらしく、本学のほかには、主に3つの国公立大学にありただけでしたが、昨今では住居の専門教育を標榜する学科はかなり増えています。

学外からは「住宅・建築のデザイナーを育てる大学」という定評をいただき、その評価に恥じない教育体系・カリキュラムを構築することに力を入れてきました。卒業生の多くが専門家として社会で幅広く活躍していることや、職業にとどまらずさまざまな地域活動を展開している女性が多数育っていることも、われわれにとって大きな誇りになっています。そのような実績をふまえて、JABEEの認定を受けることを決断しました。建築学科と遜色ない専門教育を行っている証として、国際的にも通用する良質な教育を行っていることを第三者に認定してもらうことで、在学生や卒業生のモチベーションを向上させることが目的のひとつでした。小規模な本学にとってそれは



日本女子大学家政学部住居学科
住居学科教授

石川孝重（いしかわ たかしげ）

決して楽な決断ではありませんでした。学科教員14名が一丸となって、毎週のように夜間会議を重ね教育理念について侃々諤々の議論を戦わせたこと、膨大な書類を整理し自らの手で山のような書類を運搬したことなどが、大変ながらも胸に深く刻まれた思い出となっています。久方ぶりに面接を受けて緊張したこともありましたが、

試行審査からはじまり本審査を経て、建築学及び建築学関連分野として日本で最初の認定プログラムになったこと、満期5年の認定をいただいたこと、女子大で初めてのJABEE認定プログラムだったことなど、学科の誇りとしております。これらすべてが学生のための良質な教育につながり、教育改善を考える好機になりました。

昨今の社会構造の変革はめざましく、教育もとどまることのない改善を求められています。自助努力は当然のこととして、第三者認証がこれからの社会において重要な意味をもつことは明らかなです。それに対応し、学科の存在価値を常に客観的に見つめ直し社会に問うことは、これからの大学に欠かすことはできないものと認識しています。JABEEの社会的認知度がより一層高まり、これからも卒業生が正しく評価されることを願ってやみません。